

## 回答者の8割以上は、「池子の森を保全したい」との切実な声！

7割以上の方は、「米軍住宅追加建設反対」、「米軍住宅建設は中止を」！

『池子の森』の環境経済価値は年間3,700億円～4,000億円規模

主催：関東学院大学安田八十五研究室・「2006年度『池子の森』の環境価値評価アンケート結果」

協力：米軍住宅増設をやめさせ、基地返還と池子の森を守る会

『池子の森』は首都圏に残された大規模な緑地（約290ha）であり、60年以上、人の手が入っていないので、「自然の博物館」といわれている自然の宝庫である。後世に引き継ぎたい大切な森です。

2003年7月、この『池子の森』の横浜市側（約37ha）に米軍家族住宅800戸を建設すると日米両政府は発表した。'04年になり、「700戸18階建て」と100戸少なくすることを発表し、中田横浜市長は地元住民の総意を聞かず、そのまま受け入れてしまいました。防衛施設庁は、'06年8月に「米軍家族住宅基本設計案」を発表していますが、基本的な問題の構造は変わっていません。この間、地元住民は「米軍住宅増設をやめさせ基地返還と池子の森を守る会」（以下「守る会」）の運動や自治会などでの取り組みで、地域住民説明会を国の責任で行うことを求め、『池子の森』を守るよう横浜市や防衛施設庁に要望してきています。逗子市は「三者合意（1994年の国・県・逗子市の今後は『池子の森』の緑は残す）」を実行するよう裁判で国に求めています。

こうした中で2005年度に引き続き、関東学院大学経済学部安田八十五研究室では「池子の森の自然としての価値を経済的に評価する」ことを目的

に横浜市・逗子市・鎌倉市・横須賀市の市民を対象にアンケート調査を2006年11月に行い478人（19.9%）から回答を得ました。昨年は地元の東朝比奈と六浦の住民のみでしたが、今回は本格調査として、区域を拡げ、電話帳からの無作為抽出し2,400人に郵送しました。

上の表からも、回答者の84%の人が「池子の森」は保全すべきと考えていることが分かります。また、「池子の森に米軍住宅を追加建設する日米合意」については73%の人が反対しており、これは昨年の地元のアンケート結果に近いものです。多くの市民が『池子の森』を大切に想い、保全して欲しいと考えていることを示しています。

今回の調査対象区域（横浜市・逗子市・鎌倉市・横須賀市）の住民は約82%の人が「池子の森の一部が横浜市区域にあること」、約78%の人が「米軍家族住宅追加建設」の話を知っていましたが、2006年8月国が発表した「米軍家族住宅基本設計案」については53%の人しか知りませんでした。

『池子の森』の経済価値評価については、無作為抽出で行った478人のデータを簡単な方法で分析した暫定値ではありますが、3,700億円から4,000億円規模の経済的な価値があると算出されています。他の代表的なCVM調査の評価額は世界遺産に指定されている鹿児島県屋久島の保全：2,483億円、伊勢湾藤前干潟の保全：2,900億円、東京湾盤洲干潟の保全1,671億円であり、『池子の森』がそうした世界遺産クラスの自然遺産と同等の経済的価値があることを示しています。詳細は、安田八十五専用ホームページ中の安田・丸茂池子論文を参照されたい。

安田八十五専用ホームページ：<http://www.yasuda85.com/>

### 2006年度アンケート集計結果

配布対象地域 横浜市(金沢区重点)、  
逗子市、鎌倉市、横須賀市

配布・郵送数 2,400

回答数・率 478 (19.9%)

「池子の森」を保全すべきだと思いますか

(回答者478人中)

はい 402 (84.1%)

いいえ 17 (3.5%)

分からない・無回答 59 (12.4%)

「池子の森」に米軍住宅を追加建設する  
日米合意について(回答者478人中)

反対 349 (73.0%)

賛成 36 (7.5%)

分からない・無回答 93 (19.4%)

### 昨年の地元アンケート結果

「池子の森」に米軍住宅を追加建設する  
日米合意について(回答者443人中)

反対 336 (75.8%)

賛成 18 (4.1%)

分からない 89 (20.1%)